

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について
～滝川市立小学校、中学校の体力の状況等～

滝川市教育委員会

1 調査の概要

(1) 実施期間

令和4年4月から7月末まで

(2) 調査の対象学年（悉皆調査）

小学校第5学年、中学校第2学年の全児童生徒

(3) 調査の内容

① 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査

(ア) 小学校の調査種目

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(イ) 中学校の調査種目

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走/20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

(※持久走か20mシャトルランのどちらかの選択が原則だが、両方実施した生徒もいる。)

イ 運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

② 学校に対する児童生徒の体力向上に係る取組等に関する質問紙調査

(4) 参加状況 小学校6校 中学校3校

(5) 調査対象児童生徒数

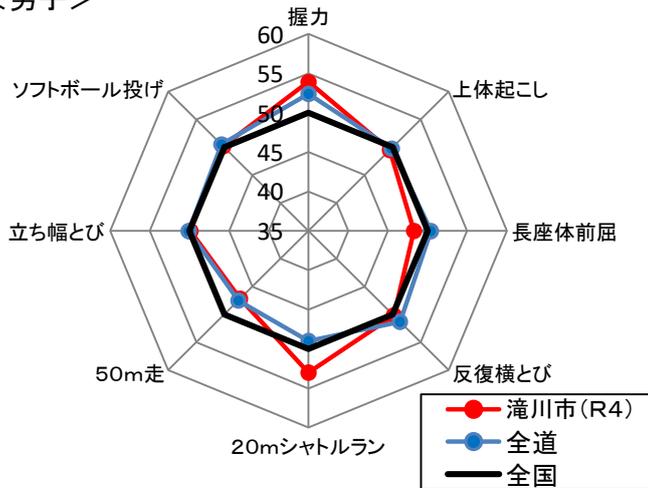
	小学校第5学年			中学校第2学年	
	学校名	対象児童数		学校名	対象生徒数
	滝川第一小	36		江陵中	94
	滝川第二小	58		明苑中	109
	滝川第三小	58		開西中	37
	西小	31			
	江部乙小	11			
	東小	99			
	計	293		計	240

2 滝川市立小学校の状況及び体力向上策（学校数：6校、児童数：293名）

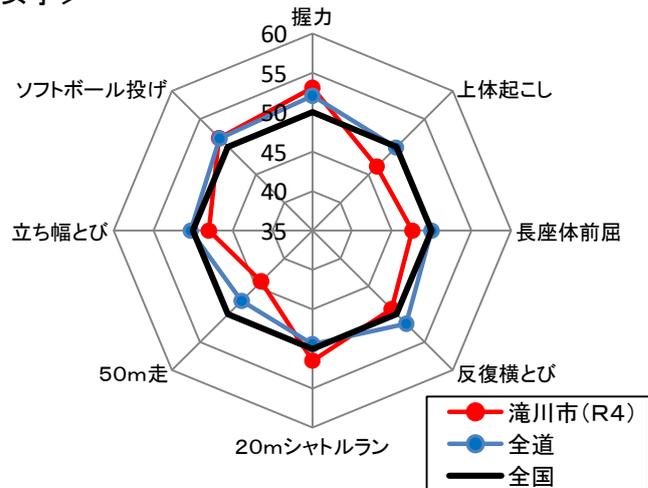
【各種目の状況】

全国を50とした時の偏差値(T得点)をレーダーチャートで表示

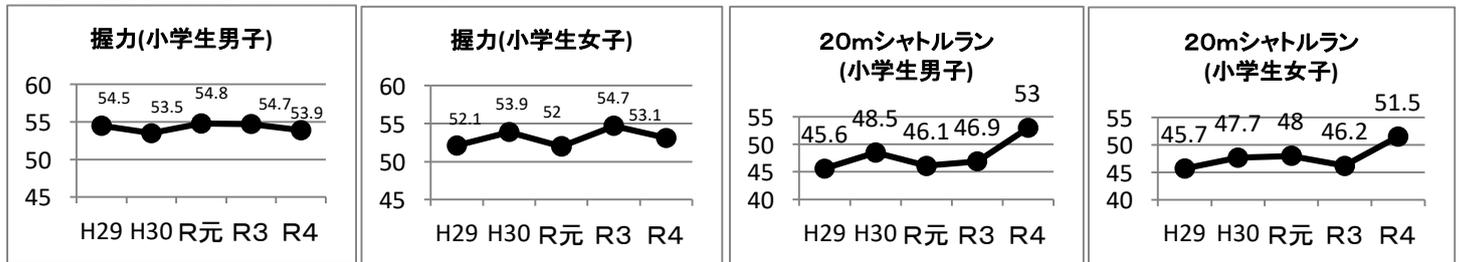
<男子>



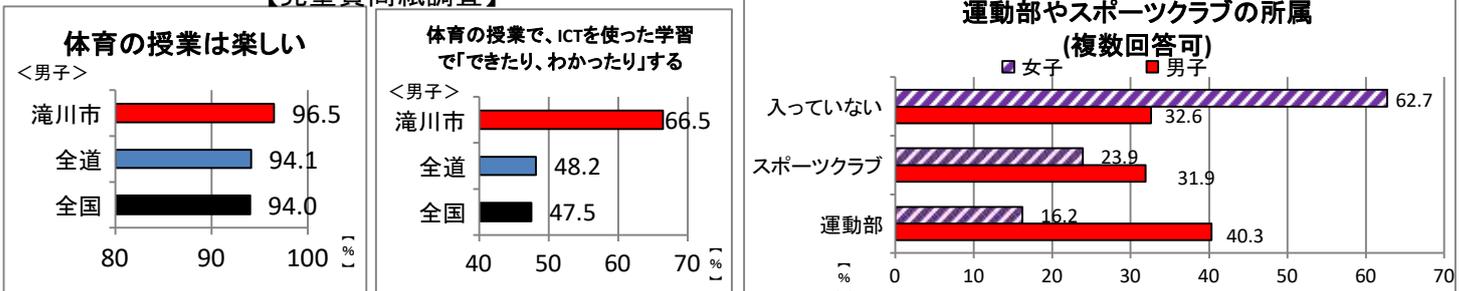
<女子>



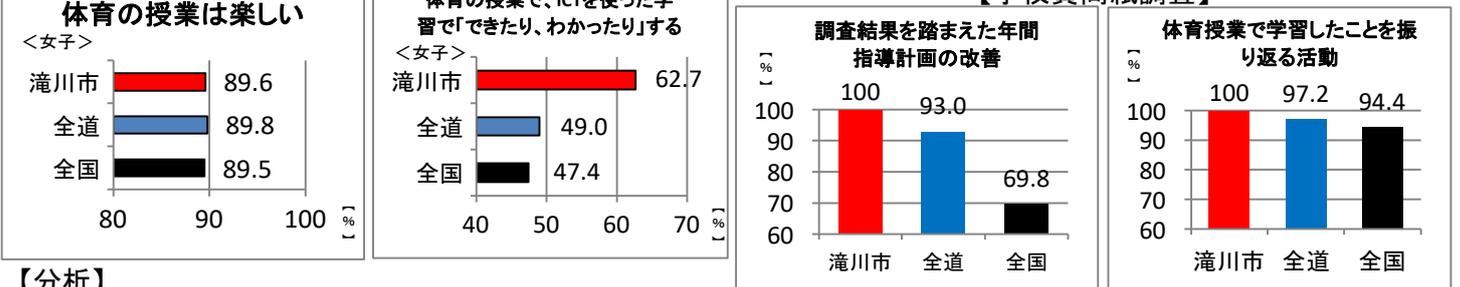
【経年変化(T得点)】 ※令和2年度は中止



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

実 技	○ 男子の「握力」「反復横とび」「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」「体力合計点」、女子の「握力」「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」は全国平均を上回っている。また、男子と女子の「20mシャトルラン」の経年変化を見ると、平成29年から上下動はしているが、いずれも大きな伸びを見せている。 ○ 「上体起こし」「長座体前屈」「50m走」は、男女ともに全国・全道平均に及ばない。
児童質問紙	○ 「体育の授業は楽しい」「体育の授業で、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する」と回答した児童の割合は、男女ともに全道及び全国を上回っている。体育の授業においても、個別最適な学びに向けた授業改善が行われていることが要因と考えられる。 ○ 運動部やスポーツクラブに所属していないという児童は、男子では低い割合となっているものの、女子では全国・全道と比べても高い割合となっている。
学校質問紙	○ 前年度、全ての小学校において、調査結果を踏まえた年間指導計画の改善を行うとともに、体育授業では学習したことを振り返る活動を行っている。

【滝川市の体力向上策】

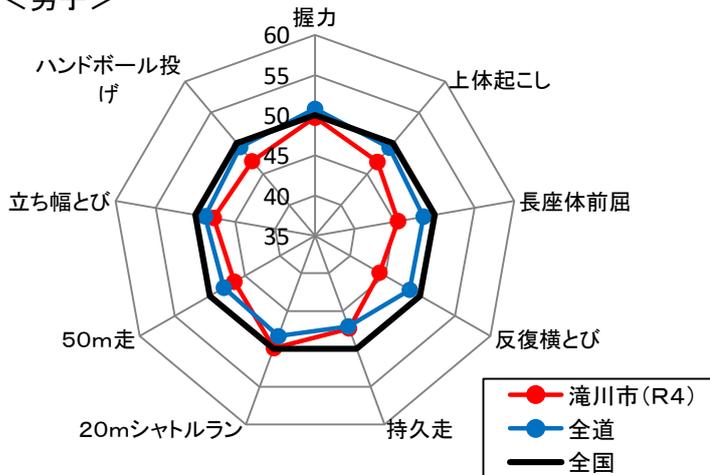
- ◎ 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を踏まえ、T得点が50(全国平均)を下回る種目に重点を置いた体力向上の取組の推進(授業改善、環境整備)
- ◎ 滝川市教育振興会による体力向上事業の継続実施並びに「スピード」や「全身持久力」を向上させる運動に焦点をあてた取組の推進
- ◎ 滝川市スポーツ協会及び各種団体によるスポーツ大会等の開催に係る支援
- ◎ アダプテッドスポーツの出前授業の継続実施
- ◎ 体育専科教員活用事業による体育専科教諭の取組の水平展開(公開授業の実施等による市内小・中学校への成果の普及)
- ◎ 社会教育活動との連携による運動の機会の創出(外部講師を活用した陸上指導等)

3 滝川市立中学校の状況及び体力向上策（学校数：3校、生徒数：240名）

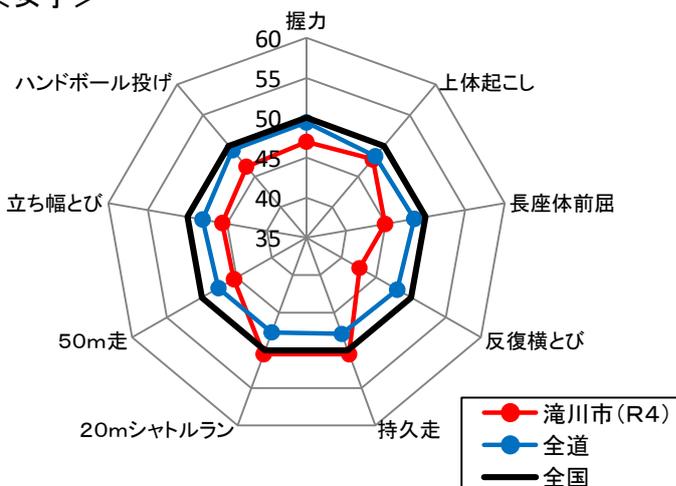
【各種目の状況】

全国を50とした時の偏差値（T得点）をレーダーチャートで表示

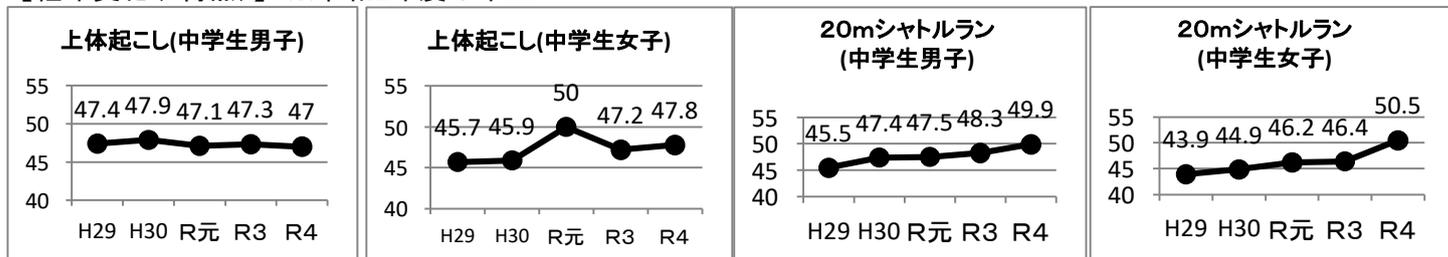
<男子>



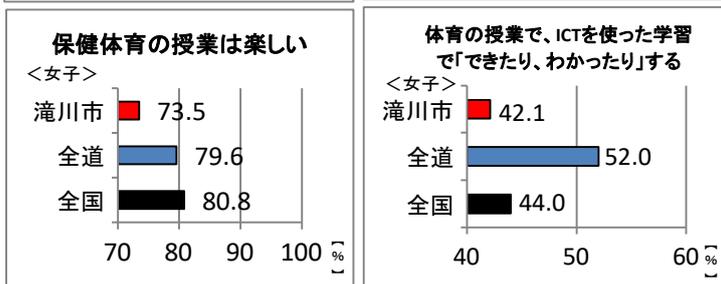
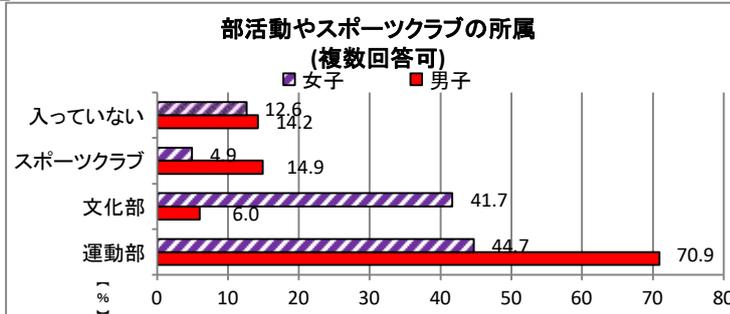
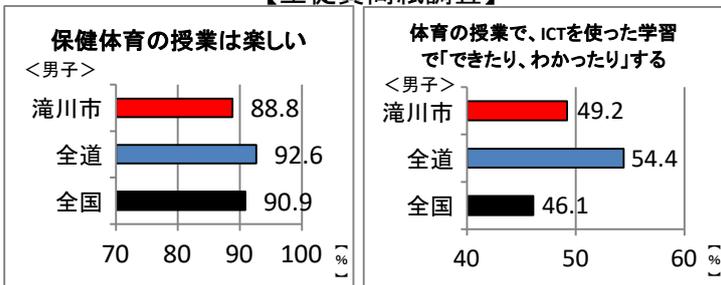
<女子>



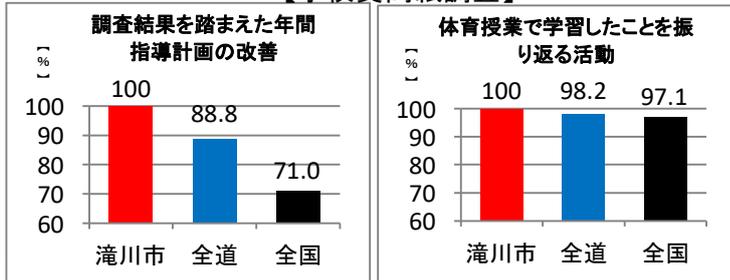
【経年変化(T得点)】 ※令和2年度は中止



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

実 技	○ 女子の「持久走」「20mシャトルラン」は全国平均を上回っている。その他の種目は、男子、女子ともに全国平均に届いていない。男子と女子の「20mシャトルラン」の経年変化を見ると、男子ではここ数年、緩やかな伸びが見られるとともに、女子では大きな伸びを見せている。 ○ 男女ともに「反復横跳び」に全国・全道平均との大きな差が見られている。
生徒質問紙	○ 「保健体育の授業は楽しい」と回答した生徒の割合は、全国・全道の平均に及ばなかった。また、「体育の授業で、ICTを使った学習で『できたり、わかったりする』」と回答した生徒の割合は、男子では全国平均を上回っているものの、女子では全国・全道の平均を下回った。中学校においては、体育の授業におけるICTの効果的な活用について更なる改善が求められる。 ○ 部活やスポーツクラブに所属していないという生徒の割合は、全道と比べると低い割合となっている。滝川市の傾向として文化部所属の女子が多い。
学校質問紙	○ 前年度、全ての小学校において、調査結果を踏まえた年間指導計画の改善を行うとともに、体育授業では学習したことを振り返る活動を行っている。

【滝川市の体力向上策】

- ◎ 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を踏まえ、T得点が50(全国平均)を下回る種目に重点を置いた体力向上の取組の推進(授業改善、環境整備)
- ◎ 滝川市教育振興会による体力向上事業の継続実施並びに「全身持久力」を向上させる運動に焦点をあてた取組の推進
- ◎ 滝川市スポーツ協会及び各種団体によるスポーツ大会等の開催に係る支援
- ◎ 体育専科教員活用事業による体育専科教諭の取組の水平展開(公開授業の実施等による市内小・中学校への成果の普及)
- ◎ 社会教育活動との連携による運動の機会の創出(外部講師を活用した陸上指導等)